

がい こく じん かい ご しょく いん
外国人介護職員

し えん
キャリア支援パンフレット

こっ か し かく かい ご ふく し し ごう かく
国家資格「介護福祉士」に合格した

にん がい こく じん かい ご しょく いん
3人の外国人介護職員にインタビューしました!

かい ご ふく し し
「介護福祉士」に

ごう かく
合格するためには、

どうすればいいの?



こっ か し けん
どうやって国家試験の

べんきょう
勉強をすればいいの?

ぎ もん
疑問に

こた
お答えします

!!



※このパンフレットに書いてあることについて

このパンフレットの情報は、令和6年(2024年)1月の情報です。「在留資格」については、他のパンフレットなどで確認してください。

名前 NGUYEN THI MONG TUYEN (トゥエンさん)
年齢 26歳 出身 ベトナム
所属 社会福祉法人八寿会 特別養護老人ホームみどりの園 (神奈川県藤沢市)
ごうかくねん 合格年 2023年3月



「初任者研修」「実務者研修」など
いろいろな研修の機会を利用して
勉強を進め、

特定技能1年目で
介護福祉士に合格！



Q これまでの経歴は？

2019年に日本に生まれました。子どものころから看護師を目指し、ベトナムで看護の短期大学を卒業しました。日本で働きたいと思い、ベトナムで1年半日本語学校に通った後に日本にきました。技能実習3年の後に、特定技能に変更して1年目に「介護福祉士」に合格しました。

Q どうやって国家試験の勉強をしましたか？

技能実習生の時に「初任者研修」と「実務者研修」や施設内の研修を受け、介護の勉強をしていきました。他にも、日本人と一緒に研修を受けることも多くあります。

家で出勤前に1日30分勉強するようにしました。毎日ではできませんでしたが、勉強する習慣をつけることができました。休みの日は2~3時間勉強していました。

国家試験対策では、外国人用の介護福祉士国家試験テキストで勉強しました。ベトナム語で書いてある本もありましたが、私の考えとしては「日本語→ベトナム語→日本語」と訳するのは手間がかかるので、そのまま日本語で勉強したほうが早いと感じています。

子どものころから本を読むことが好きで、ベトナムの家に、祖父が持っていた漢字やチュノム(ベトナム独自の漢字)で書かれた本があって読んでいました。その経験が、日本語の漢字を勉強するのに役立ちました。

ベトナムでも、看護も勉強をしていたので、病気などの理解は早かったです。

国家試験に受ければ、①日本で長く働ける、②一度帰ってもまた来れる、③知識を向上させたい、この3つをモチベーションにして勉強をがんばりました。また、単純に覚えるだけではなく、きちんと介護の仕事内容の意味を理解してから、試験を受けることをおすすめします。

Q 資格を取ってからの変化は？

業務内容は変わっていませんが、勉強をしたことで介護の仕事で以前よりも上手にできるようになったと感じています。

ベトナムの家族は、日本の国家資格を取ったことを、すごく喜んでくれました。

今後は、リーダーの仕事もできるようになりたいと考えています。

Q これから介護福祉士を目指す人にメッセージをお願いします！

国家試験を受けるチャンスがあれば、ぜひチャレンジしてください。自分のためにも、自分の国のためにも、知識は必ず役に立ちます。

日本の介護の自立支援、尊厳の考え方は、他の国にも広がればいいなと思っています。私の夢は、将来ベトナムの自分の故郷に高齢者施設を作ることです。

